

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 26.11.6 第 187 回国会第 4 号

11 月 6 日（木）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律案（内閣提出第 17 号）

- ・高市総務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・高市総務大臣、二之湯総務副大臣、あかま総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、次世代、みんな、共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

後藤 祐一君（民主）

- ・同一の地方公共団体の長と議員の選挙の間に限られる「90 日特例」の適用を都道府県と同一都道府県内の市町村の選挙の間にも拡大することについて、高市総務大臣の見解を伺いたい。
- ・統一地方選挙を前半と後半とに分けている理由について、総務省の見解を伺いたい。

新原 秀人君（維新）

- ・地方公共団体の議会及び長の選挙期日を統一することの意義を二之湯総務副大臣に伺いたい。
- ・阪神・淡路大震災に係る選挙の特例により議員の任期の延長が行われた結果、統一地方選挙で当選した議員が直ちに就任できなくなっているという事情を踏まえ、地方公共団体の議会の議員の任期の短縮を立法的に行えるのか、総務省の見解を伺いたい。

宮沢 隆仁君（次世代）

- ・選挙に係る経費を節約するために地方選挙の期日を再統一すべきだと考えるが、総務省の見解を伺いたい。
- ・政治とカネの問題を含めて、今後の選挙の在り方について、高市総務大臣の所見を伺いたい。

山内 康一君（みんな）

- ・統一地方選挙の統一率が低下している中であって、統一地方選挙を実施することの意義について、高市総務大臣の基本的認識を伺いたい。
- ・平日に選挙期日を設けている地方公共団体の数及び平日

に設定している理由を総務省に伺いたい。

佐々木 憲昭君（共産）

- ・地方議会議員数の減少は、住民の声を十分に反映させるという観点から問題があると考えますが、高市総務大臣の見解を伺いたい。
- ・地方選挙の統一率を高めるために統一対象期間を拡大することは、4 年ごとの選挙で住民の意思を確認する原則から遠ざかることとなると考えるが、高市総務大臣の見解を伺いたい。

玉城 デニー君（生活）

- ・本法律案により統一地方選挙を実施することが投票率向上にどのような寄与するのか、総務省の見解を伺いたい。
- ・投票しやすい環境づくりのため、今後、投票への参加方法についてどのような検討が必要か、高市総務大臣の見解を伺いたい。